

減収減益 3期連続

設備投資は堅調 全産業で13四半期連続で増加

- 財務省が公表した2016年4～6月期の法人企業統計によると、全産業の経常利益（前年同期比）は10.0%の減少となった。
- ただし、金額は過去最高だった前年同期に次ぐ高水準を維持。
- 設備投資は全産業で13四半期連続の増加。低金利などに支えられ、経営者の設備投資意欲は依然旺盛。

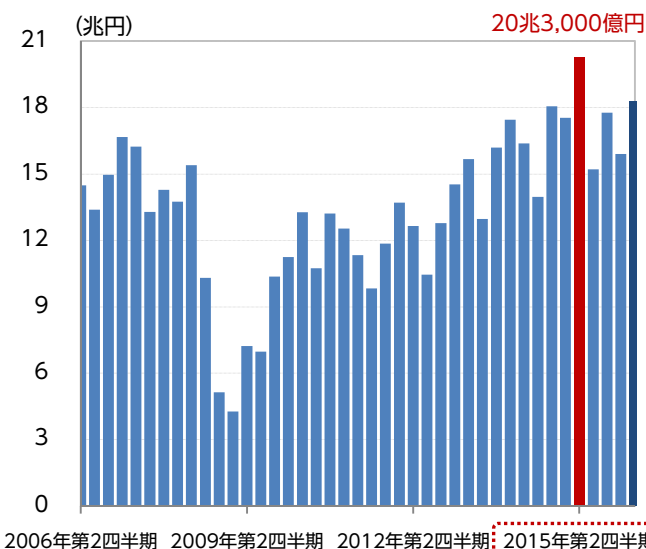
財務省が9月1日に公表した2016年4～6月期の法人企業統計によると、全産業（資本金1千万円以上、金融機関を除く）の経常利益は前年同期比10.0%減となりました。売上高も3.5%減で減収減益は3期連続。設備投資額は前期に比べ伸びは鈍化したものの3.1%増の9兆3,145億円とプラスを維持しました。

経常利益は減少したものの、金額は18兆2,639億円と過去最高だった前年同期に次ぐ高水準となりました（図表1）。業種別では製造業が22.4%減と大きく落ち込んでいます。落ち込み幅は2009年7～9月期（69.3%減）以来、6年9ヵ月ぶりの大きさです。自動車などの輸出用機械の落ち込みが目立ちました。非製造業も3.1%の減少でした。

設備投資は全産業で13四半期連続で増加しました。製造業が11.1%増と全体をけん引する一方、非製造業は1.3%減と13四半期ぶりに減少しました（図表2）。

一時1米ドル＝100円を突破した円相場ですが、米追加利上げ観測の高まりや日本の追加緩和期待の後退等とともに円高に一服感が出始めているようです。円相場の動向次第では、2016年4～6月期が当面の企業業績の底になる可能性もありそうです。

図表1：経常利益は過去最高に次ぐ水準

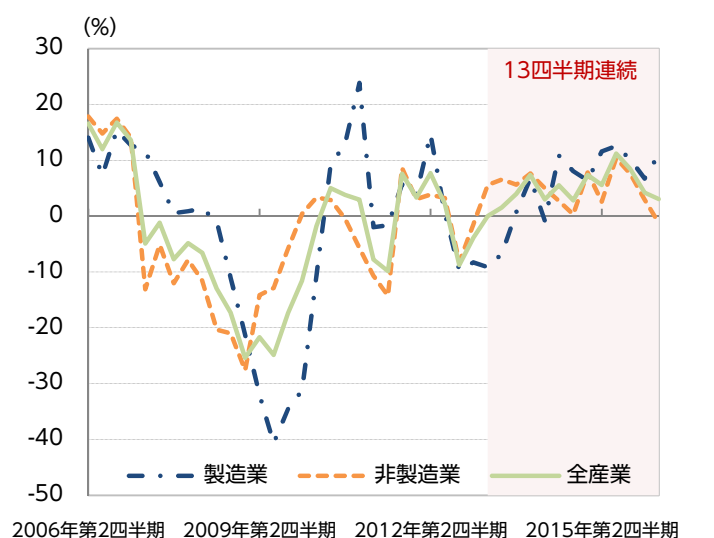


※経常利益の推移（全産業（金融業、保険業以外の業種））

データ期間：2006年第2四半期～2016年第2四半期（四半期毎）

出所）図表1、図表2は財務省「法人企業統計」のデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

図表2：設備投資は13四半期連続で増加



※設備投資の推移（前年同期比）、全産業（金融業、保険業以外の業種）

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではありません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント